



# 選択問題紙

経営学部1部（経営情報学科）

法学部1・2部

2025年2月11日

10:00～11:00（60分）

## 注意事項

— 注意事項は裏表紙にもある。問題紙を裏返して必ず読むこと。 —

1. 解答用紙は問題紙の中に折り込まれている。

問題のページと解答用紙の色は下表の通りである。

選択問題	ページ	解答用紙
日本史	2～8	水色
世界史	10～18	緑色
地理	20～29	紫色
政治・経済	30～39	桃色
数学	40～42	黄色

2. 解答用紙は1枚だけ提出すること。2枚以上提出した場合にはすべて無効となる。
3. 解答はすべて解答用紙の指定された欄に記入すること。
4. 試験開始の合図があるまで問題紙を開いてはいけない。
5. 試験終了まで退室してはいけない。
6. 受験番号の記入については裏表紙を参照すること。

— 以下は数学を選択する受験者のみに関する注意である。 —

7. 数学の解答用紙は表裏両面である。数学の解答用紙には答えだけでなく、導出の過程も記入すること。

問題 1, 2 は必須で、問題 3, 4, 5 については、これらの中から1問を選択し、解答用紙の  の中に選択した問題の番号を記入すること。

なお、問題 2 は、問題 A, B のどちらか一方の問題を選択し、問題 2 の解答欄にある  の中に選択した問題の記号（AまたはB）を記入すること。

# 数学

## 1 (必須)

次の各問いに答えよ。

(1)  $x^3 - zx^2 - x^2 + xy - yz + zx$  を因数分解せよ。

(2)  $a = \frac{5}{\sqrt{10} - \sqrt{5}}$ ,  $b = \frac{5}{\sqrt{10} + \sqrt{5}}$  のとき,  $a^4 + b^4$  の値を求めよ。

(3)  $\sin \theta + \cos \theta = \frac{3}{5}$  のとき,  $\sin \theta \cos \theta$  および  $\cos \theta$  の値をそれぞれ求めよ。ただし,  $0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$  とする。

**2** (必須)

次の問題 **A**, **B** のどちらか 1 問を選択し, その問題について答えよ。

**A**  $n$  を自然数とする。1 個のさいころを  $n$  回投げたとき, 1 回目に出た目を  $a_1$ , 2 回目に出た目を  $a_2$ , …… ,  $n$  回目に出た目を  $a_n$  とする。このとき, 次の問いに答えよ。

- (1)  $n = 3$  のとき,  $a_1 < a_2 < a_3$  であるような目の出方は何通りあるか。
- (2)  $n = 3$  のとき,  $a_1 \leq a_2 \leq a_3$  であるような目の出方は何通りあるか。
- (3)  $a_1 \leq a_2 \leq \dots \leq a_n$  であるような目の出方が何通りあるかを  $n$  を用いて表せ。

**B** 次の各問いに答えよ。

- (1) 8 進法で表された数  $2025_{(8)}$  を 2 進法で表せ。
- (2)  $\frac{15857}{10807}$  を既約分数にせよ。なお, 既約分数とはそれ以上約分できない分数のことである。
- (3) 方程式  $x^4 + y^2 = 2025$  を満たす自然数の組  $(x, y)$  をすべて求めよ。

**数****3** (選択)

三角形 ABC において,  $AB = 1$ ,  $\angle B = \theta$ ,  $\angle C = 90^\circ$  とし, 頂点 C から辺 AB に下ろした垂線を CD とする。三角形 ABC の周の長さを  $l$  とし, 三角形 ABC の面積を  $S$  とするとき, 次の問いに答えよ。ただし,  $0^\circ < \theta < 45^\circ$  とする。

- (1)  $l$  と  $S$  を  $\theta$  を用いて表せ。
- (2)  $l = 1 + \frac{\sqrt{6}}{2}$  のとき,  $S$  の値を求めよ。
- (3)  $l = 1 + \frac{\sqrt{6}}{2}$  のとき, 三角形 BCD の面積  $S'$  の値を求めよ。

**4** (選択)

関数  $f(x) = x^3 - 6ax^2 + 32a^3$  の極大値を  $p$ , 極小値を  $q$  とするとき, 次の問いに答えよ。ただし,  $a$  は  $a \neq 0$  を満たす実数の定数とする。

- (1)  $a < 0$  のとき,  $p$  と  $q$  を求めよ。
- (2)  $a > 0$  のとき,  $|p - q| = 4$  を満たす  $a$  の値を求めよ。
- (3)  $a < 0$  とする。  $|p - q| = 4$  を満たすとき, 曲線  $y = f(x)$  と  $x$  軸で囲まれた図形の面積  $S$  を求めよ。

**5** (選択)

次の条件によって定められる数列  $\{a_n\}$ ,  $\{b_n\}$ ,  $\{c_n\}$  がある。

$$a_1 = 1, b_1 = 0, c_1 = 0$$

$$a_{n+1} = \frac{1}{2}a_n, b_{n+1} = \frac{1}{2}a_n + \frac{2}{3}b_n, c_{n+1} = \frac{1}{3}b_n + c_n \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$$

このとき, 次の問いに答えよ。ただし,  $n = 1, 2, 3, \dots$  とする。

- (1) 数列  $\{a_n\}$  の一般項を求めよ。
- (2)  $d_n = 2^{n-1}b_n$  とするとき, 数列  $\{d_n\}$  の一般項を求めよ。
- (3) 数列  $\{c_n\}$  の一般項を求めよ。

(このページは白紙です)

《注 意》

採点・集計などのさいに受験番号の読み間違いが生じないように、受験番号はつぎの点に注意して記入すること。

1. 受験番号は2箇所記入する。
2. HBの鉛筆・シャープペンシルを使って、1マス1字ずつはっきり書く。
3. ほかの数字とまぎらわしくないように書く。

良い例	1	3	4	5	6	7
悪い例	1(7)	3(8)	4(6) 4(9)	5(6)	6(4)	7(1) 7(9)

それぞれ（ ）内の数字と誤解されやすい。